

2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



2

Vol.

2014年 8月号



2014-15年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

金子 克也

GOVERNOR : Kaneko Katsuya

「ロータリーデーと会員増強」

—45年前の記録から—

国際ロータリー会長ゲイリー・ホァン氏は、就任にあたり、次の3項目を強調されました。

- 1、ロータリーの奉仕をみんなで分かち合い、クラブを強化し、地域におけるロータリーの存在感を高める
- 2、会員数130万人到達の達成、地元で“ロータリーデー”の開催
- 3、ポリオの撲滅

3つの強調事項の内、2番目に掲げられている“ロータリーデー”とは、1、イベントを開催し、地域の人々に楽しみながらロータリーのことを学んで頂くというとてもシンプルなものです。ロータリーをより良く理解してもらい、入会への関心を高めることが出来るまたとない機会になるでしょう。

2、地元企業や団体との連携も可能です。近隣クラブが合同で実施したり、地区レベルで大規模に開催することも可能です。大切な事は、参加者がイベントを楽しみ、ロータリーに関心を持って頂くようなイベントにすることです。

具体例を示しましょう。

- (1)屋外でのピクニックやバーベキュー大会
- (2)家族向けのマラソン大会、その他スポーツ行事やコンサート
- (3)参加型の奉仕活動を開催し、地域の人と一緒に奉仕活動をししょう

- (4)地元のお祭りやイベントに併せた催し
- (5)美術館やカルチャーセンターでのイベント
- (6)チケット制のレセプションや夕食会

全世界で34,000のクラブがそれぞれの地域社会で、ロータリーデーの楽しく、貴重な経験を地域社会の人々と分かち合えば、世界全体では、大きなインパクトになるでしょう。当然、ロータリーの認知度も上がり、会員増強し、クラブ強化も可能でしょう。3つの強調事項の内2つが可能となります。

私は、福山南RC創立10周年記念誌を見ていましたら、“若人と共に”の記事が目に入りました。今から45年前、昭和44年3月16日、福山南RC創立5周年記念行事として、霞町にありました福山市民会館大ホールで、中学生、高校生、25歳未満の青年男女による器楽演奏、演劇、コーラス、米国から来日した留学生を交えた座談会、写真、書道、絵画、彫刻などの展示・発表が行われました。当日の参加者は、来場者も含めて2,000名に達しました。

出演者と来場者全員への記念品は、北海道大学の前身である札幌農学校教授、クラーク博士の有名な言葉を贈ることになりました。北海道大学の校庭に立つ銅像に刻まれている有名な言葉“Boys, be ambitious.”とこれに続く全文は次の通りです。

『Boys, be ambitious. Be ambitious not for money or selfish aggrandizement, not for evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.』

「少年よ、大志を抱け。金銭あるいは個人的権力に対する大志ではない、名声とよばれる儂いものに対する大志でもない、人間としてなすべきことのすべてを達成することに対して大志を抱け」と書かれています。

この全文を記した真鍮銘板2,000枚を、出演者、出展者、来場者全員に配付しました。翌3月17日の山陽新聞には、「座談会やコーラス」、「福山で若人らと語る会」の見出しで記事が掲載されました。幸いにもその年度には、9人もの入会者がありました。(P2へつづく)



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	ロータリー財団部門 報告	5
会員増強および拡大月間に寄せて	2	米山記念奨学会部門 報告	5
【地区協議会特集】		【各委員会より報告とお知らせ】	
地区研修・協議会を終えて	2	『ロータリーの友』オリエンテーション 報告	6
会長・幹事部門 報告	3	「全国会員増強維持セミナー」出席 報告	6
クラブ管理運営部門 報告	3	ロータリー財団寄付のお願い	6
会員増強部門 報告	4	会員増減・出席率	7
広報部門 報告	4	新入会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信	8
奉仕プロジェクト部門① 報告	4	訂正とお詫び	8

【ガバナー月信8月号】



(表紙より) 地域の人々が2,000人も参加したこと、中学、高校、一般の青少年を対象としたこと、翌日の新聞報道が、ロータリーの広報になったこと、9名もの新会員が生まれたこと、また、クラーク博士の掲げる人としてなすべきことは、ロータリーの理念とも合致し、参加者に深く強い感銘を与えたことは、容易に想像できます。

この集いは、一般人の参加も多く、内容も多彩で、楽しめる文化的な要素の多いイベントでした。ゲイリー・ホーンRI会長の提唱するロータリーデーの原型の一つともいえましょ

う。こうしたイベントを通じて、ロータリーのIdeal of service (奉仕の理念) を、多くの若い人や、地域の人々に感じて頂けたら、短期的にも長期的にも必ず計り知れない効果を生むと考えられます。

各クラブ規模に応じて、地域の人々を巻き込んだイベントを出来るだけ頻回に実施、継続すれば、必ずや、地域におけるロータリーの評判は高まりましょう。開かれたロータリーを掲げ、皆様の地域で、独自の“ロータリーデー”を開催し、成果を挙げられることを願っています。

ム研修セミナーで行った下記の項目、

1. 2014-15年度
 - (1)RI テーマ “LIGHT UP ROTARY”[ロータリーに輝きを]
 - (2)RI会長強調事項
 - ①クラブ強化とロータリーの認知度向上
 - ②会員130万人の達成
 - ③ポリオの撲滅
 2. 2014-15年度
 - (1)ガバナー信条“奉仕 (Service) を学び、ロータリーを楽しもう”
 - (2)重点運営方針
 - ①職業奉仕の学習と実践
 - ②会員増強
 - ③積極的な奉仕活動
 - ④学び楽しむ地区大会
 - ⑤東日本被災地への継続支援
 - ⑥楽しいロータリーライフ(ロータリーデーへの参加・協力)
- に加え、クラブリーダーシッププラン (CLP) の当地区の現況について、追加説明をパワーポイントで行いました。職業奉仕を再確認して、地区とクラブの協力の下、全会員一致団結し

て自信を持って奉仕活動に邁進する1年にしましょうと呼びかけました。

本会議に続き分科会では、2700地区廣畑富雄PGのご講演の会長・幹事部門をはじめ、各分科会のカウンセラーの下、地区チームリーダー、副リーダーの協力により、地区チームとクラブ指導者チームとの熱心な発表・討論を行う事ができました。

会長・幹事部門では、2700地区廣畑富雄PGは、Vocational Serviceについて、職業は天から与えられたものであり、高い倫理性が求められるとおっしゃいました。肝に銘ずべき言葉です。その後の報告では、時間の足りない分科会はありましたが、時間の余った分科会は無く、予定通り終了できました。静かで充実した研修になったと感じました。

そして、ホテルグランヴィア広島での懇親会は、和やかに楽しく経過し、地区研修・協議会の全スケジュールを終了致しました。プランナーの責任を大過なく果たすことが出来ました。これは、PG、地区チームそしてクラブ指導者と指導者チームの皆様のご協力の御陰と、心から感謝し、地区研修・協議会報告と致します。



会員増強および拡大月間に寄せて

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区会員増強委員会カウンセラー・パストガバナー **天野 肇**

8月は会員増強・拡大月間です。この月間中に各クラブでは、7月より開始している会員増強活動が目標に向けて支障なく動き始めているかどうかをチェックすると同時にクラブの職業分類表が地域の職業や産業構造の多様化を反映しているかどうかを調査し、新会員候補者の情報を集めることに力を注いで頂くようお願い致します。

先日新聞やテレビで報道された2040年問題は、日本のロータリーに大きな影響を齎します。国が手を拱いているなら、2040年には全国自治体896が消滅するという衝撃的な調査報告です。現在全国自治体1967ですが、凡そ25年後にはその45.5%が消滅するという厳しい見解です。現政権が打ち出した人口1億人を切らないという目標は、全国的課題です。

このような状況下で、RIは田中作次元RI会長年度世界130万人達成、日本はSAKUJI大作戦として10万人クリアなる指標が示されました。しかし世界は2013年7月の時点で120万人を割り118.5万人、日本は10万人は夢物語、本年3月の時点で88,487人、対前年99.9%という厳しい現況です。

組織の力は、質を重視するとはいえ、総じて圧倒的に数です。ロータリーは、数を増やす、つまり会員数を増やすことに努力しなければ、RIは人頭分担金を上げざるを得ませんし、ロータリー財団への寄付額は、余程奇特な方が居られれば別ですが、常識的には増えません。寄付率が下がれば、必然的に財団活動の低下に繋がります。地区もクラブも同様です。財

政は逼迫せざるを得ません。クラブ年会費の値上げは、会員増強を益々難しくする要因となります。経済は、若干のインフレを期待しますが、バブルを期待しないため、一時期の様なクラブの水ぶくれは起きませんし、起こしてはなりません。瑕疵なき会員を増やすことが大事です。

クラブ会員増強のために、我々は3つのことをまず考える必要があります。一つは「現状直視」です。クラブの現状把握とあるべき姿を明確に描くことです。更に地域の人口動態、産業構造と総出荷額等々、換言すれば民力の把握が必須です。民力が衰えた地域に拡大は難しく、増強も然りです。二つ目は、クラブ役員、会員増強委員長などリーダーに選ばれた人達のリーダーシップです。リーダーであるからリーダーシップがある訳ではありません。明確な目標設定、明確な実行計画と実行に当たりベストプラクティスを心がける意思を明確に示せば、自然会員は付いてきます。これがリーダーシップです。三つ目はクラブイノベーションです。換言すると冒険心です。例会時間、例会食事、例会場所等々我々は「年々歳々同じ」でなく「歳々年年同じからず」を考える必要があります。例えば福山市であれば、会場費格安の「市民参画センター」を利用し、弁当で済ませる例会形式を月1回行えば、例会コストは下がり、年会費に腐心する頻度は減ります。前例踏襲を打ち破る方法を大胆に採用することがクラブを活性化し、引いては会員増強に好結果を出せると考えます。各クラブのご健闘を祈ります。



地区研修・協議会分科会 会長・幹事部門の報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **高橋 寛登**

14時30分から、会長・幹事部門分科会が開催されました。リーダーは、金子克也GE、地区研修リーダーは、前田 茂PG、副リーダーは、東 良輝GNと田原榮一GND、リーダー補佐は、小倉國雄代表幹事、兼広三朗次々年度代表幹事と私でした。

地区研修・協議会は、2013年手続要覧によりますと、「クラブ会長エレクトが、PETSでの研修を土台として、さらにリーダーシップのスキルを学び、その他の次期クラブリーダーが責務について学ぶ。次年度リーダー全員で次年度の目標をさらに練り上げる。」とあります。

会長・幹事部門分科会のテーマ「奉仕を学び、ロータリーを楽しもう」のガバナー信条のもと、地区運営の重点方針に掲げられている職業奉仕についての理解を一層深めるために、その方面の権威であります、RI2700地区廣畑富雄PGを招聘して、『ロータリーの原点、特に職業奉仕について』の講演を聴きました。先生は、『ロータリーは、倫理性を大事にする団体であり、奉仕は、人のためになる行為である。』と説かれました。深い感銘と受けたことを申し上げ、報告と致します。



2014-2015 地区研修・協議会 クラブ管理運営部門

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会委員長 **浅利 清**

クラブ管理運営委員会の地区目標は、1、「魅力的な例会の研究と親睦の強化」2、「出席率の向上」3、「CLPへの理解と勧奨」です。

分科会では、この地区方針に従い、クラブをより魅力的で、楽しめる例会に変えてゆく為に情報の共有を行いました。他クラブの例会運営や問題解決のヒントを見つけて戴けるように、事前にアンケートお願いしました。全クラブより戴いた回答をまとめて作成した資料を基に1、会員年齢構成・例会の工夫・親睦例会。2、出席率・欠席理由・欠席者絵の対応・出席率の向上。3、CLPの導入でよかった点・よくなかった点等々について、テーマ別に各クラブの色々な事例を紹介させて戴

き、当該クラブからも具体的な説明をして戴きました。

また、質問のあった「CLPの考え方と導入」については、カウンセラーの沖田ガバナーより、CLPの本来の目的である「効果的なクラブとなる4つの要素」を中心に、詳しく分かり易く説明をして戴きました。

ここに掲載できませんが、参加された方にお渡しした資料は、74クラブから戴いた多くの事例や意見は貴重な資料と成りました。是非、今後のクラブづくりや例会づくりの参考にして戴きたいと思えます。

分科会の最後にカウンセラーより、全般についての講評とアドバイスを戴きました。

地区協議会特集



一地区研修・協議会を終えて一

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー **金子 克也**

2700地区廣畑富雄パストガバナーはじめ、2710地区パストガバナーや次年度各クラブ指導者850名の参加を得て地区研修・協議会を5月17日広島国際会議場で、開催致しました。私は、ガバナーエレクトとして、3月15日PETS & 地区チー



地区研修・協議会報告 会員増強部門

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会委員長 菅本 栄介

分科会のテーマは、①各クラブ純増1名以上純増達成地区を目指す。②ロータリー情報・研修リーダーの役割を強化し増強活動を進める。③クラブ会長を中心に絶えず会員増強プログラムを発信してもらう。④ロータリーデー開催の支援の4つでした。まず、天野肇カウンセラーより「仲間を増やそう！会員増強を考える」の講話をお聞きしました。抜粋しますと、会員増強の必要性は？・「ロータリーの目的」の理解と実践、特に知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。・会員増強活動は、ロータリーの認知度向上の路線上に或る（活動活発→認知度向上→増強）。・クラブの新陳代謝を促し、活性化につながる。・クラブ内の職業分類の多様化を促進し、新たに生ま

れる知恵や知識は、奉仕プログラムを活性化させる。

次に広島中央RC土井クラブ会長、広島陵北RC下田増強委員長、何れも昨年の地区大会で会員増強に優れた実績を上げられ表彰された非常に活気あるクラブより事例報告をして戴き今後の活動に生かされる内容でした。

続いて油谷湾RC和田直前リーダーより小人数規模の運営と現状を報告して戴き、地域により様々な問題を再認識しました。

ロータリー情報委員会よりアンケートの集計を報告し、最後に天野カウンセラーより講評で、会員増強は地区ガバナー各クラブ会長・リーダー・会員一人ひとりが本気で取り組んで頂くようお願いされました。



地区研修・協議会 広報部門報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 広報委員会委員長 高垣 邦雄

5月17日(土)広島国際会議場にて行われました、地区研修・協議会の広報部門の報告をさせていただきます。13時からはじめた、合同本会議第一部に引き続き14時30分からの分科会・広報部の勉強会が2710地区各クラブより68名の出席のもと、16時まで1時間30分充実した広報の分科会を行うことができました。

カウンセラーには、私達2710地区の広報に一番精通されている、PG大之木精二(呉RC)様に勤めていただきました。今回の分科会の中でも一番わかり難い広報をわかり易く「ロータリークラブと広報」と題して、まずカウンセラーの大之木様より1、広報とは何か 2、何故ロータリークラブに広報が必要か 3、ロータリークラブにおける広報委員会の役割とは何かと具体的に事例をあげながらわかり易く15分間お話をいただきました。

次に、地区広報委員会IT部担当 森見一(福山南RC)が「広報の在り方と方向性について」と題して、皆さんがお持ちの携帯電話やスマートフォンを使用しても十分広報活動のツール

として機能することをIT担当として実践・説明をして30分の報告を完了いたしました。

ひきつづき「雑誌(ロータリーの友):ガバナー月信について」と題し、地区広報委員会雑誌部担当 田頭和規(福山南RC)が、皆様もよくご存知のとおり、ロータリーには3題責務がございます。その一つ目は例会出席の義務、二つ目は会費納入の義務、三つ目はロータリーの友の購読の義務の三つです。だがこの三番目の「ロータリーの友」は購買はしていますが会員の皆様がどこまで読まれているのでしょうか、ロータリーをよく知るためには広報委員として会員の皆様にぜひ読んでいただける様お勧めください。最後に「ロータリーデー開催について」と題し、前年度地区広報委員長 小松靖之介(下関東RC)さんから、次年度RI会長のゲイリー CK ホアン氏の提唱されている「ロータリーデー開催について」と題し発表していただきました。

発表終了後、広報分科会カウンセラー大之木精二様に講評をいただき90分の分科会を終了いたしました。



地区研修・協議会 奉仕プロジェクト部門①

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員長 藤岡 一郎

5月17日13時より2014-2015年度地区研修・協議会が広島国際会議場で開催されました。合同本会議第一部に続き、各分科会が開かれ、私は奉仕プロジェクト部門①(職業奉仕・社会奉

仕・国際奉仕)を担当いたしました。

分科会の基本方針にもとづき、RI会長のテーマであります、「ロータリーに輝きを」を認識し、各クラブは奉仕プロジェク

トの事業計画がこのテーマに沿って立案実施し、情報の共有化と連携を図り、サポートしていきます。

分科会のテーマとしては、新たな奉仕活動の研究と実践を掲げ、金子ガバナーエレクトの信条、及び重点運営方針を強く受け止めながら、奉仕プロジェクト委員会では、今年度、職業奉仕活動のアンケートを行い、事例報告として、広島廿日市RCの渡邊英晶様、福山北RCの佐藤晃一様より事例報告を頂きました。福山南RCの高橋敦様より、「ロータリーの歴史から学ぶ奉仕プロジェクト」と題して、ロータリーの誕生からどのようにして奉仕活動が生まれたかを年代順に報告されまし

た。社会奉仕活動の事例といたしまして、福山南RCの土井浩永様より、自クラブが後援されています、宇宙少年団の福山南ローズスター分団の活動報告と福山南RCの関わり方が報告されました。国際奉仕活動の事例報告として、広島北RCの丸本佳生様より、タイでの水プロジェクトの事例報告がされました。講評として、カウンセラーの南園パストガバナー、西村パストガバナーに講評を頂き、閉会いたしました。その後、合同本会議第2部が開かれ、無事終了しました。この後、ホテルグランヴィア広島に移り、楽しい懇親会が開かれ、すべて終了しました。



地区研修・協議会報告 ロータリー財団部門報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区ロータリー財団委員会委員長 伊賀 訓之

この度の地区研修・協議会 ロータリー財団部門において、各クラブ関係者の皆様にご出席をいただき、ありがとうございました。

基本方針として、ロータリー財団の使命に沿った地区補助金、6つの重点分野を支援するグローバル補助金、パッケージグラントなど、補助金を立案実施する各クラブをサポートし、クラブの活性化とロータリー財団への理解を深めることに重点を置き、開催致しました。

現況報告を倉田修三委員、補助金管理セミナーの総論を久笠信雄委員が担当しました。総論として、ロータリー財団の使命と補助金について、ロータリー財団の歴史で特に1983年に非営利財団法人にならざるをえなかったこと、その設立定款に、目的として慈善的で教育的のみ運営させることと合

わせて、米国歳入法501条C項3号の恩恵(寄付金への免税措置+財団運用益金課税の減免、2種の恩典)があること、次に制約として、補助金管理の手引きに記載されている各種制約と授与と受託の条件の参考資料にも記載されていますが、これらの制約はロータリー財団章典に根拠として示されている旨を説明しました。

次に各論として地区補助金を松井 敏委員、グローバル補助金を三吉孝治委員が担当しました。事例発表として、地区補助金は徳納武使様(広島西南RC)より地域のニーズ調査がいかに大切であるかということをご発表いただき、グローバル補助金は山本清様(呉南RC)に実施国と支援国のコミュニケーションがいかに大切か、また財団からの質問に答えるための地域のニーズ調査の必要性も合わせてご発表いただきました。



地区研修・協議会報告 米山記念奨学会部門

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会委員長 仲達 吉晴

地区内各クラブの米山委員長67名とカウンセラー仁田一也パストガバナーをはじめ、学友会会長島崎高志さん、米山奨学生2名、奨学生カウンセラー村上光さん、今年度米山委員長井上正明さん、次年度米山委員長浅山琢也さんの御出席のもと、総勢76名で開催されました。

「公益財団法人としてさらなる奨学事業の理解と促進を」を基本テーマとして、分科会を開催しました。地区カウンセラーの仁田一也PG様(広島東南)より開会のご挨拶をいただいた後、早速プログラムに入りました。

分科会テーマは以下の2点としました。

- 1) 地区内のロータリアンに米山記念事業を理解して頂き、事業の充実発展のため、寄付率向上を目指す。(地区方針 寄付目標額16千円以上/人の達成)
- 2) ロータリアンと奨学生・学友会との交流を図り、米山記

念奨学会シンボルマークにある国を超えた信頼と世界平和を願う“心”を育てる。

はじめに、米山記念奨学会作成のDVD「心つないで、世界へ」を上映し、その後パワーポイントにより米山記念奨学会の概況並びに現状を説明、また当地区の状況についても報告しました。(奨学生との交流がないクラブに対しサブクラブの利活用をお願いしました)

次に、奨学生2名並びに奨学生カウンセラーの方々から講評をいただきました。紙面の都合で省略させていただきます。その後、学友会会長の島崎様から活動について説明を頂き、最後に質疑応答を予定しておりましたが、時間の都合により出来ませんでした(誠に申し訳ありませんでした)。講評として仁田PGより米山奨学会事業がいかに有意義ですばらしいかを改めて確認し閉会となりました。



各委員会より報告とお知らせ



2015/5/19開催
『ロータリーの友』オリエンテーション報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 『ロータリーの友』部会代表委員 田頭 和規

1. 主な質問と回答につきまして

①WEB版発行の期限は決まっているのか？

〈回答〉

2015年12月末までに正式発行することをRIからは求められています。様々な課題をクリアしつつ、印刷版か電子版かを選択できる体制を構築したいと考えています。

②WEB版の開発は進んでいるのか、また、電子版が無料のように考えられているのではないかと購読料などの説明が必要と考えるか。

〈回答〉

2014年7月号からは、印刷版とまったく同じ内容で製作できています。次年度はIDとパスワードの変更や購

読料設定なども検討中です。変更の場合は各クラブ宛、封書にて通知していきます。

2. 2014-15年度『ロータリーの友』誌編集企画につきまして

①会員の写真で表紙を構成します。

②「わがまち…そしてロータリー」の連載を継続します。

③「心は共に」で引き続き、復興の状況やロータリアンの支援などを取り上げていきます。

④「ロータリー、いま」の連載を継続します。

2014-15年度は、ロータリーの最新の活動を紹介する「ロータリー、いま」で、初心者にもわかりやすく、ロータリーの状況を紹介します。

⑤「ロータリー活動」(フォトコンテスト)を継続します。



3月19日 開催
「全国会員増強維持セミナー」出席報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会委員長 菅本 栄介

3月19日(水)10時より、ホテルオークラ東京に於いて「国際ロータリー 第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナー」が開催されました。金子克也GEと出席しました。

先ず、北 清治RI理事の挨拶の後、田中作次RI直前会長の「ロータリーの魅力」のタイトルで講演を拝聴し、次に杉谷卓紀RI理事エレクトより若い年齢層の入会を促進してほしいとの提案がありました。

次にRI第1・2・3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダー辰野克彦氏より今セミナーへの提案として先ず、「作次作戦」[女性会員の増強][会員維持]会費・会員高齢化の現状「クラブ拡大」について、Eクラブを拡大する、などの提案がありました。

次にショートスピーチ「私がロータリーを辞めないわけ」5人の事例報告がありました。

昼食をはさみ午後は、パネルディスカッション 新たなタイプのクラブはどう拡大できるか・会員基盤構成の多様性をどう考えるか・ファシリテーター・井上コーディネーター他3人のパネリストによる報告があり、会員増強維持委員会委員長・司 葉子さんより3月から6月にかけて特に退会防止に力を注いでほしいと提案がありました。

全体での質疑応答があり意見交換を行い、どこの地区においても共通な課題があり、今後増強活動に特効薬はなく地道にクラブを挙げ意識改革に努め行動を起こす事を痛感しました。



ロータリー財団寄付のお願い

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区ロータリー財団委員会委員長 伊賀 訓之

■2014-15年度、地区ロータリー財団寄付目標

- ①年次基金 150ドル以上/1人
- ②ポリオ・プラス 15ドル以上/1人
- ③ベネファクター 1人以上/1クラブ
- ④恒久基金の充実(ロータリー財団の将来にそなえて)
- ⑤大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)
- ⑥冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

■自動定期寄付

自動定期寄付は、オンラインで申込みいただけます。下記のアドレスから寄付の種類を選択後、順次寄付ページを進んで下さい。

<http://www.rotary.org/ja/CONTRIBUTE>

この寄付方法では自分に合った寄付額と寄付頻度が設定出来、手続きにかかる手間が省けるだけでなく、安全な方法で自動的に寄付することが可能になります。ご協力宜しくお願いいたします。

国際ロータリー 第2710地区 2013-14年度 74RCの会員増減・出席率

2014年6月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初(7/1)	当 月		本 年度		増減
						末日	内女性	入会者	退会者	
グループ1	長 門	4	90.03	90.68	32	29	4	2	5	-3
	下 関	5	82.55	80.65	47	47	2	6	6	0
	下関中央	4	92.72	82.15	30	28	4	3	5	-2
	下関東	4	74.81	83.04	46	47	0	6	5	1
	下関北	4	90.55	91.34	40	41	0	4	3	1
グループ2	下関西	4	84.62	82.02	38	35	1	1	4	-3
	油谷湾	4	100	98.23	13	11	0	0	2	-2
	計		87.9	86.87	246	238	11	22	30	-8
	萩	3	95.2	93.2	51	52	0	2	1	1
	萩 東	3	100	99.55	22	21	0	0	1	-1
グループ3	美 祿	4	78.71	76.91	26	24	0	1	3	-2
	小野田	4	84.14	85.56	41	41	2	2	2	0
	宇 部	4	90.68	89.97	49	49	2	7	7	0
	宇部東	4	63.21	67.52	17	14	2	0	3	-3
	宇部西	4	96.83	92.65	53	49	1	3	7	-4
グループ4	計		86.97	86.48	259	250	7	15	24	-9
	防 府	3	96.15	88.09	51	50	0	6	7	-1
	防府北	4	93.42	81.4	20	19	2	2	3	-1
	防府南	3	96.3	82.09	33	36	8	5	2	3
	山 口	3	95.23	94.77	55	55	3	8	8	0
グループ5	山口県央	3	95.37	94.47	32	36	1	5	1	4
	山口南	3	90.8	87.5	38	39	4	3	2	1
	計		90.8	87.5	38	39	4	3	2	1
	光	4	91.67	92.11	48	45	0	1	4	-3
	周南西	4	97.63	94.64	43	46	5	4	1	3
グループ6	徳 山	4	93.32	94.05	45	50	1	12	7	5
	徳山中央	4	90.84	87.25	31	28	1	1	4	-3
	徳山東	4	92.16	95.36	53	52	0	2	3	-1
	計		93.12	92.68	220	221	7	20	19	1
	岩 国	3	80.23	78.24	62	61	0	5	6	-1
グループ7	岩国中央	4	88.07	89.79	40	38	3	2	4	-2
	岩国西	4	88.24	86.75	56	54	3	5	7	-2
	柳 井	4	97.14	99.48	33	34	2	7	6	1
	柳井西	4	100	98.94	28	28	2	3	3	0
	計		90.74	90.64	219	215	10	22	26	-4
グループ8	広 島	4	99.78	99.32	106	114	0	17	9	8
	広島安芸	4	98.63	98.07	39	39	2	1	1	0
	広島安佐	4	82.14	84.77	20	19	1	2	3	-1
	広島東	4	97.97	98.3	90	89	4	8	9	-1
	広島北	4	100	100	80	81	0	6	5	1
グループ9	広島陵北	4	99.55	99.02	46	55	3	9	0	9
	大 竹	4	87.12	89.36	31	31	0	4	4	0
	計		95.03	95.55	412	428	10	47	31	16

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初(7/1)	当 月		本 年度		増減
						末日	内女性	入会者	退会者	
グループ10	広島中央	4	100	99.97	69	70	8	7	6	1
	広島廿日市	4	84.87	89.42	37	37	1	1	1	0
	広島城南	4	99.16	98.2	55	57	3	4	2	2
	広島南	3	99.6	99.56	89	88	0	3	4	-1
	広島東南	5	100	100	86	86	9	6	6	0
グループ11	広島西南	4	100	100	57	62	4	10	5	5
	広島西	4	100	100	78	75	0	3	6	-3
	計		97.66	98.16	471	475	25	34	30	4
	江田島	4	82.5	91.11	19	19	0	3	3	0
	東広島	4	100	99.8	30	31	2	1	0	1
グループ12	東広島21	4	81.94	80.99	18	18	5	1	1	0
	呉	4	92.02	91.1	68	68	1	7	7	0
	呉 東	4	97.32	93.52	33	28	0	1	6	-5
	呉 南	4	93.41	92.76	55	56	4	4	3	1
	西 条	4	100	99.95	40	39	1	3	4	-1
グループ13	計		92.46	92.75	263	259	13	20	24	-4
	広島空港	3	88.89	84.9	21	22	3	2	1	1
	因 島	4	88	87.28	24	26	1	3	1	2
	三 原	4	94.84	93.15	63	64	2	2	1	1
	尾 道	4	84.77	85.28	70	71	3	7	6	1
グループ14	尾道東	4	91.05	91.13	50	51	0	3	2	1
	瀬戸田	4	85.7	87.05	7	7	0	1	1	0
	竹 原	4	88.94	90.01	35	36	4	4	3	1
	計		88.88	88.4	270	277	13	22	15	7
	府 中	4	90.17	86.19	33	32	0	0	1	-1
グループ15	福 山	5	97.34	96.15	74	83	0	19	10	9
	福山東	3	96.6	91.64	50	49	3	2	3	-1
	福山丸之内	4	100	97.98	34	33	1	0	1	-1
	福山の浦	4	79	81.15	27	23	0	2	6	-4
	福山REC2710	5	94.29	97.18	27	26	4	4	5	-1
グループ16	計		92.90	91.71	245	246	8	27	26	1
	福山赤坂	5	78.83	76.93	42	43	4	3	2	1
	福山北	4	97.34	97.24	46	48	0	4	2	2
	福山南	4	84.93	83.57	58	60	2	5	3	2
	福山西	3	94.69	93.81	38	44	3	6	0	6
グループ17	松 永	4	87.24	89.92	46	49	2	3	0	3
	計		88.61	88.29	230	244	11	21	7	14
	吉 舎	4	97.06	97.62	17	17	0	0	0	0
	三 次	4	80.24	78.45	40	39	0	3	4	-1
	三次中央	4	91.33	92.19	44	44	5	2	2	0
グループ18	庄 原	4	92.96	90.65	35	33	4	1	3	-2
	東 城	4	82.14	84.96	21	19	1	1	3	-2
	計		88.75	88.77	157	152	10	7	12	-5
	第2710地区計		91.35	90.44	3221	3240	143	286	267	19

新入会員紹介



鈴木 純一
下関RC
2014年 6月16日
中央銀行



今中 崇之
下関中央RC
2014年 6月6日
弁理士



染谷 健二
下関西RC
2014年 7月2日
証券業



郷田 宏
宇部西RC
2014年 7月1日
IT関係



松岡 俊朗
山口県央RC
2014年 7月1日
電気器具販売



妻崎 博之
周南西RC
2014年 6月10日
商業銀行



西尾 正尚
徳山RC
2014年 6月26日
石油販売



川畑 淳一
徳山東RC
2014年 6月18日
車輛製造



川元 正
徳山東RC
2014年 6月18日
環境衛生



恵良 慎哉
岩国西RC
2014年 6月27日
製瓦



大方 幸一郎
広島RC
2014年 6月10日
配管設備業



遠藤 暢彦
広島安佐RC
2014年 7月2日
都市建築



西丸 洋平
広島安佐RC
2014年 7月2日
弁護士



小野 栄治
広島東RC
2014年 6月11日
外科医



大川畑 文昭
広島北RC
2014年 7月3日
損害保険



岡田 清治
広島北RC
2014年 7月3日
ホテル



岡本 勝幸
広島北RC
2014年 7月3日
地方銀行



竹内 剛
広島北RC
2014年 7月3日
室内装飾



村上 知史
広島北RC
2014年 6月10日
総合建設業



朝倉 和昭
広島東南RC
2014年 6月23日
冷暖房設備工事業



福永 哲
広島東南RC
2014年 6月30日
生命保険



景田 博文
呉南RC
2014年 6月10日
税理士



佐藤 智幸
尾道RC
2014年 6月6日
船舶代理店業



富永 嘉文
尾道東RC
2014年 6月17日
都市行政



尾野 剛章
竹原RC
2014年 6月19日
食肉販売



杉本 賢
福山RC
2014年 6月2日
外国為替銀行



阿部 貞紀
福山RC
2014年 6月23日
証券業



小川 真平
鞆の浦RC
2014年 7月1日
生活総合サービス業



能登 伸一
福山西RC
2014年 6月3日
鉄鋼販売



山本 尚
東城RC
2014年 7月1日
信用金庫

謹んで追悼の意を表します



岩国西RC
故 三谷 文雄 殿
2014年 6月14日ご逝去
(享年57歳)
■ロータリー歴
出席委員長・社会奉仕委員長
■職業分類
仏教

文庫
通信

322号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■最近のロータリー情報

日本のロータリアンに期待する	ロン D. バートン	2014	5p	(第42回ロータリー研究会報告書)
RI会長を終えて	田中 作次	2014	8p	(第42回ロータリー研究会報告書)
北米におけるロータリー研究会	G.Kenneth Morgan	2014	3p	(第42回ロータリー研究会報告書)
世界のロータリー	田中 作次	2014	4p	(D.2770地区大会の記録)
今こそ考えよう、ロータリーの心と基本 -RIの最近の動きとクラブの対応	富田 英壽	2014	38p	(魅力あるロータリーに)
RLIとは	南園 義一	2012	6p	(RLI 研修セミナーテキスト)
新戦略計画の理解と実践を	南園 義一	2014	2p	(D.2780月信)
2013年版手続要覧「主な改定内容と解説」	小船井修一	2014	3p	(D.2500月信)
「職業奉仕フォーラム」実施の報告	福田 武男	2014	2p	(D.2510月信)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫 | 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 http://www.rotary-bunko.jp 開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

お詫びと
訂正

ガバナー月信vol.1(7月号) P3「ガバナーメッセージ」に以下の通り誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

下から22行目 ①ポリオ・プラスへの支援 (誤) 5ドル ⇒ (正) 15ドル

下から16行目 (5)米山記念奨学会支援 (誤) 6,000円 ⇒ (正) 16,000円

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/